



恒例の子ども向け書庫ツアーの様子です（上／一般資料サービス課 8/11、下／北方資料サービス課 7/30開催）。

普段は入ることができない場所で、たくさんのいろいろな本や動画をご覧いただきました。  
関連記事は、活動報告2、3をご覧ください。

## 目次

▶ <b>これ</b> 図書館の魅力	・・・・・・・・ 1～3
▶ <b>特集</b> 電子図書館	・・・・・・・・ 4～5
▶ <b>図書館紹介1</b> 「ニセコ町学習交流センターあそぶつく」	・・・・・・・・ 6～7
▶ <b>図書館紹介2</b> 「室蘭市図書館」	・・・・・・・・ 8～9
▶ <b>活動報告1</b> 展示を振り返って	・・・・ 10～12
▶ <b>活動報告2</b> 北方資料室書庫ツアー	・・・・・・・・ 13
▶ <b>活動報告3</b> 図書館の秘密を探せ！子ども向け書庫ツアー2022	・・・・・・・・ 14
▶ <b>活動報告4</b> 連携事業	・・・・・・・・ 15
▶ <b>活動報告5</b> 2022サイエンスパークについて	・・・・・・・・ 16
▶ <b>活動報告6</b> アイヌ文化講演会「知里真志保とアイヌ語・文化研究の足跡」	・・・・・・・・ 17
▶ <b>活動報告7</b> 研修事業 全道図書館中堅職員研修会	・・・・・・・・ 18
▶ <b>最近の出来事</b> 北日本図書館大会北海道大会	・・・・・・・・ 19
▶ <b>令和4年度（2022年度）上半期の事業一覧</b>	・・・・・・・・ 20
▶ <b>掲示板</b>	・・・・・・・・ 21

## 図書館の魅力

北海道立図書館長 川端 雄一

一般的に図書館は、公共施設の中では利用者が多い施設ではありますが、道立図書館の場合、立地環境等の影響もあるためか、来館者の多くはリピーターであり、新規の来館者をいかに増やしていくのが課題の一つとなっています。このため、少しでも図書館に興味・関心をもっていただき、来館の動機となるよう図書館の魅力について触れてみたいと思います。

### ○図書館の種類

一口に図書館といっても、国が設置する「国立国会図書館」や、道立図書館のように地方自治体が設置する「公共図書館」、大学内に設置される「大学図書館」、小中学校や高等学校などに設置される「学校図書館」などいろいろな種類の図書館があります。また、民間企業や様々な研究機関・団体などが設置する、特定の専門分野の資料や情報を収集し、サービスを提供している「専門図書館」というものもあり、それぞれに特徴的な機能や役割があります。

### ○図書館の機能や役割

そのうち、公共図書館は、無償で利用できる施設（資料の複写を希望する場合は有償）であり、地域住民や、その地域に通勤・通学したりしている方々のための図書館です（ただし、道立図書館は、道内市町村図書館の活動支援や全ての道民に対するサービス提供も行っています）。来館者の年齢も、お子さんから高齢者まで幅広く、ただ単に本を貸し借りする所ではなく、テーマ展示や講演会、読書会など、様々なイベントも行っており、地域全体の「情報センター」や「文化・交流の場」という役割も担っています。

また、地域の郷土資料や歴史的資料の収集を行うなど、「その地域にしかない宝物」も保存しており、あらゆる年代の来館者にとって、様々な楽しみ方を提供できる魅力的な施設でもあります。

さらに、近年では子どもたちの調べ学習や課題解決のお手伝いをしたり、さらには人材育成をはじめとする地域貢献など、公共図書館の役割は拡大しつつあります。

### ○専門図書館も面白い

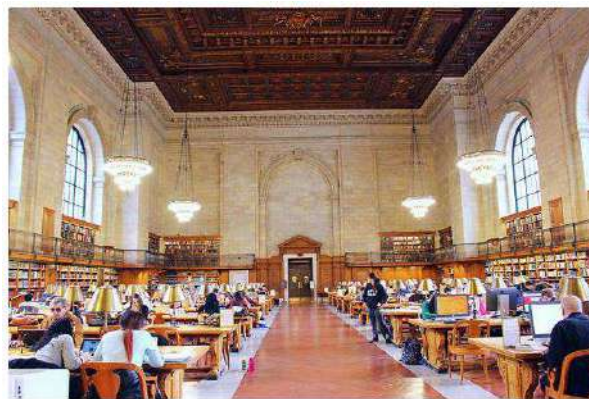
一方、専門図書館は、道内には館数も少なく、来館したことのある方は多くはないかもしれませんが、提供される資料や情報のテーマは、経済・ビジネス、文化・芸術、文学・歴史、映画・アニメ、乗り物、科学、ファッション、暮らし、国際関係、医療・健康など、幅広い分野に及んでいます。調べ物のために来館する専門家も多いですが、一般の方がふらっと訪れるだけでもワクワクするような貴重な本や資料に出会える場でもあります。実際、私も、これまで専門図書館の利用経験はほとんどありませんが、首都圏や関西圏などには、様々な種類の専門図書館がありますので、旅行に行った際などに、是非、立ち寄ってみたいと思っています。

## ○映画の舞台ともなった図書館

図書館は、国内外を問わず、映画の舞台にもなっています。特に欧米を中心とする海外の図書館には、魅力的な建物の図書館が多いため、しばしば、映画の撮影場所として使用されています。有名なところでは、全米屈指の美しい建造物で、かつ700人も収容することができる閲覧室を有する「ニューヨーク公共図書館（1911年築）」は、「ティファニーで朝食を（1961年）」「ゴーストバスターズ（1984年）」「デイ・アフター・トゥモロー（2004年）」「スパイダーマン（2002年）」など、多くの作品の舞台になっています。



(ニューヨーク公共図書館の外観)



(閲覧室 (ローズ・メイン・リーディングルーム))

また、ヨーロッパでも有数の歴史を持つ図書館で、イギリスゴシック建築の傑作である「オックスフォード大学 ボドリアン図書館（1598年築）」は、「ハリーポッター」シリーズの撮影にも使用されています（ホグワーツ魔法魔術学校の大広間や図書館として使用）。



(ボドリアン図書館 (ラドクリフ・カメラ) の外観)



(ボドリアン図書館 (ハンフリー侯爵図書館) の内部)

国内に目を向けると、「図書館戦争（2013年）：水戸市立西部図書館・北九州市立中央図書館」や「君の名は（2016年）：飛騨市図書館」といった映画（アニメを含む）が、ユニークな建造物である図書館を舞台に創られており、聖地巡礼として、多くのファンがそうした図書館を訪れているようです（残念ながら道内の図書館には映画の舞台となるような図書館はあまりないようです）。



(水戸市立西部図書館の外観)



(北九州市立中央図書館の外観)

### ○サードプレイスとしての図書館の活用を

公共図書館の本来の機能や役割は上述のとおりですが、一方で、家庭と学校や職場の中間に存在し、オープンな空間で利用者同士が交流したり、リラックスできる、いわゆる「サードプレイス」としての役割を果たすことも期待されています。このため、仕事や学校生活、家庭生活に疲れた時など、息抜きの場としても図書館を活用していただきたいと考えています。

なお、障がいのある方や読書に困難を感じている方々にとって、本が大量に並んでいる図書館は相当ハードルが高い施設だと思います。このため、道立図書館では、読書バリアフリーコーナーを設け、点字図書や大活字本、LLブック（やさしくわかりやすく書かれている本）、字幕付きの視聴覚資料なども備えており、障がいのある方だけではなく、誰にとっても使いやすい図書館を目指していますので、気軽に足を運んでいただきたいと思っています。

### ○最近残念に思っていること

最近、新聞等でも報道されていますが、道内各都市で中心部からの老舗書店の撤退が相次いでいます。10年前に比べて、現在は道内の書店数が3割近くも減少しました。特に近年、都市中心部で老舗書店の撤退が目立っています。その背景には、ネット通販や電子書籍の普及など、消費者の本の買い方や読み方の変化があると言われており、時代の流れでやむを得ないのかもしれませんが、しかし、地方に目を向ければ、状況はもっと深刻であり、少し古いデータ（2017年データ）ではありますが、道内には書店のない市町村数が58市町村で、割合は32.4%となっています（ゼロ市町村数は全国ワースト1。ゼロ市町村の割合は全国平均が24.0%）。私は、個人的に書店に行くのが好きで、街に出たときなど、時間があれば面白い本がないかと書店に立ち寄ります。そうしたことから、これ以上、街から書店がなくなるのは非常に寂しい気持ちになりますし、危機感を覚えています。新刊本を中心に扱っている書店と図書館では、本の品揃えは根本的に違いますが、せめて書店のない地域にお住まいの皆様には、地域の図書館に足を運んでいただき、読書を楽しんでいただきたいと思っています。書店と図書館が共存・共栄できる社会であることを願っています。

## 電子図書館（K i n o D e n）サービスを始めました

～利用できる資料とおすすめ～

### ○電子図書館サービスとは

当館では、4月から電子図書館サービスの提供を始めました。（株）紀伊國屋書店が提供するプラットフォーム「K i n o D e n」を利用したサービスで、インターネットに接続できる環境であれば、ブラウザやスマホアプリから、いつでも、どこでも本を読むことができます。



電子図書館サービスは、来館が難しい方も利用できるサービスとして、以前から導入を検討してきましたが、コロナ禍で必要性がより高まったことで、今回の導入に至りました。

### ○利用できる資料とおすすめ

電子図書館で提供する本には、くらしの中の課題解決や、調査・研究・学校での探求学習に役立つものを中心に選びました。健康や医療の本、ビジネス書、語学学習書、各分野の入門書や事典・図鑑の他、北海道の歴史や文化、SDGs、防災などの本があります。現時点で利用できるのは、3,054冊で、今後も定期的に追加していく予定です。NDC（日本十進分類法）の分類別に見ると（ページ右下の表とグラフ参照）、自然科学（4類）の冊数が最も多く、次いで社会科学（3類）、芸術（7類）や語学（8類）が多くなっています。なお、利用できる本は、Kinodenのトップページで検索できる他、当館のウェブページに掲載された電子書籍全点リストで確認できます。

電子書籍で特におすすめしたいのは、事典や図鑑です。紙資料の場合、事典の多くは館内での利用に限られていましたが、電子書籍であればいつでも利用できます。また、大きい、重いなどの理由で、持ち運びには不向きな資料の利用にも便利です。例えば、『昭和戦前期怪異妖怪記事資料集成

（上・中・下）』（湯本豪一編、国書

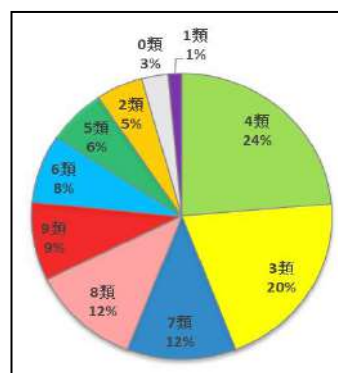
刊行会、2016～2017年刊）

は、各巻なんと約4.5kgもの重量級資料ですが、電子書籍であれば、移動先でも気にせず利用できます。

更に、全文検索機能もあります。皆様のくらしに、是非、当館の電子図書館サービスをお役立てください。

（資料整備課）

分類	冊数(冊)
0類 総記	88
1類 哲学	44
2類 歴史	155
3類 社会科学	625
4類 自然科学	723
5類 技術	192
6類 産業	236
7類 芸術	361
8類 言語	359
9類 文学	271



（電子書籍の分野別冊数と割合）

## 電子図書館（K i n o D e n）の利活用について

紀伊國屋書店学術電子図書館サービス「K i n o D e n」の利用方法や、便利な機能についてご紹介いたします。是非、ご活用ください。

### ○利用方法

当館ホームページの「利用者ポータル」にログインし、メニューの「電子図書館」からアクセスします。「利用者ポータル」にログインするには、当館の利用者カードとパスワード登録が必要です。

電子図書館は、借りたり、返したりするのではなく、アクセスしている間に電子書籍を閲覧することができます。お持ちのパソコン、スマートフォン等から、いつでもどこからでも電子書籍を読むことができます。

### ○便利な機能

(検索画面の一部)

The screenshot shows the search interface of Kinoden. At the top, there is a search bar with a magnifying glass icon and a search button labeled '検索'. To the left of the search bar, there is a red callout box with the text '使い方のヒント!' (Usage Tip!). Below the search bar, there is a checkbox labeled '未所蔵を含める' (Include not owned) which is checked. To the right of the checkbox, there are dropdown menus for '著者' (Author) and '出版社' (Publisher). Below the screenshot, there are three callout boxes with blue borders and black text:

- 約60,000点を試し読み ■**  
検索結果一覧の画面で【未所蔵を含める】にチェックを入れて検索すると、所蔵していない電子書籍も表示され、目次を確認したり、試し読みができます。
- 全電子書籍を一覧する ■**  
検索ボックスにキーワードを入力せず【検索】ボタンを押すと、所蔵する全書籍が表示され、ジャンル別で絞り込みもできます。
- すべての書籍で、本文の中身を検索します。**  
**■ 専用アプリ「b READER Cloud」で、My本棚、しおり、マーカーも利用できます。**  
**■ 文字の拡大、音声読み上げ、印刷・ダウンロード（一部分）ができます。（※書籍によります）**

上記の検索機能等のほか、8月からは、出版社が許諾している場合、本文読み上げに対応したタイトルや印刷・ダウンロードが可能なタイトルも簡単に探すことができるようになりました。

当館の利用者カードをお持ちでない方は、登録していただき、お持ちのスマートフォンやパソコン等から、いつでもどこからでも見ることができる便利な電子図書館「K i n o D e n」をご利用ください。

(一般資料サービス課)

## 図書館紹介 1

### 図書館への道のり

様々な文化を持つ人々が利用できる図書館を目指して

ニセコ町学習交流センターあそぶっく 館長 小坂 みゆき

ニセコ町学習交流センターあそぶっくは、2021年9月14日の議会にて制定された図書館設置条例で正式に図書館になりました。町のひとたちが自分たちのできる事としてはじめた図書室でのボランティア活動の開始から約23年経ってのことになります。

現在はニセコ町の指定管理者として「NPO法人あそぶっくの会」が図書館の運営を担っていますがこの法人組織の成立は、上述した町の人たちによる図書室での活動に遡ります。

1964年にニセコ町町民センターの2階に設置された図書室には、本棚と一緒に古い農機具などが置かれていました。この状態を少しでも良くしようと考えた本の好きな人や、小さな子どもをかかえたお母さんたちが集まり、読み聞かせや図書整理などの自発的な活動が始まりました。その後、1996年には2つのボランティアグループ、「図書アジャストクラブ」

「本の読み聞かせの会」が組織され、ボランティアグループは、それらの活動を通し、より充実した施設として図書館の設立を町に働きかけるよ



(ニセコ町学習交流センターあそぶっく外観)

うになっていきました。この動きに応えるかたちで、2003年に現在の「ニセコ町学習交流センター」が図書館同種施設として開館し、運営はボランティア活動をしていた人たちに託されることになりました。

運営を任された地域の人たちは、独学で図書館について学び、北海道立図書館や近隣図書施設のサポートを受け、試行錯誤しながらもニセコ町にとってなくてはならない存在の図書施設にしていきました。しかし、その一方で、当初考えていた図書館にしたいという目標は次第に薄れ、その意義や必要性を考えることが少なくなっていくことにもなりました。このことは、指定管理者制度の問題点である更なる専門性へのこだわりの低下など、図書館へのステップが知らず知らずのうちに遠のくことになってしまうという問題を抱えることになりました。

この流れを変え、再び図書館にしたいと町に働きかけるきっかけとなったのは、職場に司書、司書補の資格を持つ人が現れたことがあげられます。司書がいるいないを施設の良し悪しの判断にすることはできませんが、職場全体で専門性を意識するようになったこと、また司書がいるというこ

とで外部の見方が変わっていったことも図書館にしたいという説得力につながっていきました。

また、図書館にしなければならないと強く意識した具体例としては、施設内でのコピーができないこと、映像資料の貸出ができないことがあげられます。この2点は図書館への変更を強く進めていく大きな要因となりました。

目の不自由な方から音源資料の貸出を求められた時、小学生の児童が調べものをしているなかで、事典（禁帯）の一部をコピーしたいと希望された時、図書館では当たり前利用できるこれらのサービスを当施設では制度上受けることができません。札幌市などの大きな都市やニセコ町と同規模の町村であっても図書館であれば、これらのサービスを利用者はあたりまえのこととして受ける事ができます。図書館同種施設と図書館、一見そう違いはないように見えますが、誰もが平等に利用できる施設として不十分ではないか、地域による社会教育環境に格差を生じさせているのではないかという疑問が、図書館にしなければならないという確信につながっていきました。この課題点を町も同様に受け止め、条例図書館としての設置の実現に結びつきました。



( International Section )

今年、設立20周年を迎える当施設は、図書館になったことと併せて、これからの課題を3つ設けています。一つめはニセコ町郷土資料の収集、保管、提供、二つめは学校図書館支援の充実、そして三つめは外国語資料を揃えた「International Section」の充実です。外国人が多く暮らすという地域性を考慮し、外国語資料を充実させることはもとより外国語を使用する利用者にとって手軽に利用できるような図書環境を提供できるようにすることです。

ボランティアから始まった当時の人たちの努力とその成果を大切に、常に進化していける図書館を目指していきます。

## 誰もが利用しやすい図書館を目指して

室蘭市図書館 館長 伏見 聡



(上/えみらん外観 下/室蘭市図書館入口)

昨年12月、DENZAI環境科学館と室蘭市図書館の合築施設「えみらん」が誕生しました。

道内の図書館で最も古い建物だった旧図書館が62年ぶりに「えみらん」1階に移転し、「室蘭市図書館」と改称しスタートしました。

構想は平成23年頃、公共建築物の耐震診断により耐震性に課題があった事、建設後半世紀以上が経過し、バリアフリーや老朽化問題、蔵書スペースの限界などから、集約化による相乗効果と設備等の効率化を図り、環境科学館との合築による建て替えを決定しました。

平成27年に「環境学習と知的創造空間」「多世代が集う交流拠点」「広域連携と地域の活性化」という3つの基本コンセプトを掲げた基本計画を策定し、設計完了後、平成30年から建築工事がスタートしました。

私自身が館長に着任したのがちょうどこの頃になります。とにかく設計図を隅々まで見ながら自分が利用している姿を想像し「閲覧席の隣との幅が狭く肘がぶつかる」「引くとき座席の脚同士がぶつかる」「返却ポストの本を取り出す際に職員が頭をぶつける」など、かなり細かな部分を改善するところからはじめたのを思い出します。

図書の引越しは、梱包手法、梱包後のダンボール保管スペース確保、運搬用車両停車位置、積み込み場所と作業、運搬ルートの確保など困難の連続でした。



また、エレベーターの無い2階、3階に総数の3分の2、約9万冊が所蔵されていたため、これらを含むダンボール約1万箱の梱包と運搬作業を数日間繰り返し、運搬後の開箱、配架計画に基づく書架への1次配架作業を含めこれら一連の作業に約3か月間を要しました。

その後、新館では2次配架作業と蔵書点検、企画展示や各種サインの作成、閲覧用テーブル・イスその他備品の選定、新館開館に合わせた申請用紙等の見直し作業など数か月間の準備期間を経て、12月25日の開館を迎えました。

前日からの降雪で雪かき作業から始まったオープンでしたが、土日も重なりオープンから2日間で約2,200人が訪れました。

オープニングイベントは、体験型イベントなどのほか、図書館内では「世界のしかけ絵本展」「室蘭の歴史を知ろう！展」「としょかんガチャ」などを実施。また、年明けにはボランティアやFMラジオパーソナリティの方々にも参加いただき「新春おはなしリレー」などの行事も開催しました。



(「新春おはなしリレー」の様子)

科学館との合築という全国的にも珍しい複合形態ですが、科学館は土日祝日や春夏秋冬休み期間の家族での利用が多い施設、一方の図書館は常時幅広い年齢層の利用がある施設であり、2施設が一体化している事で、現在は、2世代3世代の家族みんなで来館し科学館と図書館の両施設を利用するという姿も見られるようになり、一定の相乗効果が現れているのを感じます。



(室蘭市図書館 館内)

また、雑誌タイトルの増加や閲覧環境の充実により、幅広く利用されるようになったほか、入試時期や定期テスト時期には多くの中高生が来館し、自習する姿が数多く見られる様になり、滞在型利用への変化も感じます。

新型コロナに振り回されながらも開館から半年。少しずつ各地で集客イベントなども再開する中、今後はこれまで利用した事のない方々にも気軽に利用いただく図書館を目指し、

また、楽しい記憶として残る「えみらん」を目指し、更なる魅力づくりに努めたいと思います。

西いぶりへお越しの際はぜひお立ち寄りください。

## 展示を振り返って

### 【一般資料閲覧室】

#### ○「雑誌スポンサー企業紹介展第2弾 (株)北菓楼×(株)富士メガネ」

期 間：2月1日(火)～3月30日(水)

道立図書館の雑誌収集をサポートしていただいている企業を紹介する「雑誌スポンサー企業紹介展」の第2弾として、「(株)北菓楼」と「(株)富士メガネ」の2社の関連資料を展示しました。一般資料閲覧室エレベーター前の展示コーナーと同室北方資料展示コーナーの2か所の連動展示で、エレベーター前の展示コーナーでは「北菓楼」は洋菓子、「富士メガネ」



は眼鏡をテーマに、読み物や文化誌を中心に貸し出しできる本を展示し、北方資料展示コーナーでは「北菓楼」のお菓子のパッケージや、「富士メガネ」創業の地である樺太の地図など、当館ならではの資料の展示を行いました。

(資料整備課)

#### ○「心と体を整える」

期 間：4月1日(金)～6月29日(水)

少しずつ暖かくなり、春めいた日が増えてくる季節の変わり目は、激しい寒暖差による体への負担や新しい環境での心の疲労など、体調を崩しやすい時期でもあります。そんな季節に、心と体を整えるきっかけとなるような本を集めて展示しました。好評につき、期間を延長して展示しました。



#### ○「環境月間」

期 間：7月1日(金)～7月28日(木)

毎年6月は環境省の定める「環境月間」、そして7月は北海道・環境道民会議の定める「道民環境行動月間」です。これにあわせて、環境問題に関する絵本や児童書をはじめ、食品廃棄、温暖化、海洋ごみ等の問題や、暮らしの中で環境に配慮する工夫について知る資料を2階閲覧室のエレベーター前に展示しました。知識の導入になる絵本から、一つのテーマを掘り下げる専門書まで、様々な視点から書かれた資料を並べることができました。



○「ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展（令和4年度北海道立図書館・北海道立近代美術館連携事業 第3弾展示）」

期 間：7月1日（金）～8月30日（火）

一昨年、コロナ禍で開催できなかった古代エジプト展（会期：7月10日～8月21日）が道立近代美術館で開催されました。

連携展示は、通常美術館内で行っているところですが、今回は美術館のスペースの都合上、道立図書館内で行い、児童書も含め、古代エジプトの世界を学び、楽しめる図書などを展示しました。



【えほんコーナー】

○「トラの絵本 ～ネコもいっしょに～」

期 間：2月26日（土）～4月27日（水）

寅年にちなみ、トラの絵本を集めました。怖いトラ、やさしいトラ、食いしん坊なトラ…。いろんなトラが登場します。そしてトラの仲間、ネコの絵本もいっしょに並べてみました。



○「おかあさんの日 おとうさんの日」

期 間：4月29日（金）～6月29日（水）

母親にはカーネーション、父親にはバラの花束を。今年5月8日（日）が母の日、6月19日（日）が父の日であるのにちなんで、お母さんとお父さんを描いたいろいろな絵本をそれぞれ100冊ずつ、計200冊集めて展示しました。



○「北海道青少年のための200冊（小学生の部）」

期 間：7月1日（金）～8月30日（火）

（公財）北海道青少年育成協会が中心となり選定した「北海道青少年のための200冊」の小学生の部にあたる本84冊を展示しました。北海道青少年育成協会から提供いただいた図書目録と「ほーほーくん」のしおりの配布も行いました。

当館も参加した北海道日本ハムファイターズ読書促進全道キャンペーンの参考図書でもあり、多くの方の目に触れる機会となりました。



### 【研修室】

#### ○「どっちも楽しい！大きな絵本と小さな絵本」

期 間：4月23日（土）～5月12日（木）

こどもの読書週間にあわせ、大人数を対象とした読み聞かせに最適な大型絵本50冊と、同じ絵本の通常サイズ50冊を展示しました。大小両方を手に取ってもらい、会場内には大きな絵本を広げやすいよう、座って読めるスペースも設けました。会場内で絵本をじっくり楽しむ方、親子で借りて帰る方など様々な方にご覧いただきました。



（一般資料サービス課）

### 【北方資料展示コーナー】

#### ○「さあ、野球だ！～2022シーズン開幕～」

期 間：4月1日（金）～6月29日（水）

新庄剛志新監督のもと、若手選手を中心に生まれ変わった北海道日本ハムファイターズ。「さあ、野球だ！」展では「勝手に応援企画」と銘打って、チームの歩みを「北海道日本ハムファイターズ前史～マジか！北海道にプロ野球チーム？～」、「強いぞファイターズ～5度のリーグ優勝、そして2度の日本シリーズ制覇～」、「投げ



る・打つ・守る～スター選手たちの輝き～」、「名監督の系譜～シンジラレナイから夢は正夢へ～」、「2022年BIG BOSSの誕生～新・常勝時代への助走～」の5つのコーナーで紹介しました。

故・水島新司氏の漫画の中の出来事だった北海道でのプロ野球チーム誕生。それが現実となってから18年が過ぎ、ファイターズもすっかり道民球団として定着しました。残念ながら今シーズンの優勝は苦しくなりましたが、来季、北広島の新球場でどのようなゲームを見せてくれるか、今から楽しみです。

（北方資料サービス課）

## 北方資料室書庫ツアー

資料を通して北海道の歴史を振り返る「北方資料室書庫ツアー」を、上半期に2回実施しました。

### 【北方資料室書庫ツアー 「北方資料×[デパートにみる北海道]」】

■ 日 時：5月28日（土）14：00～15：00

どこか懐かしく、幼少期の思い出を残す「デパート」をテーマにした書庫ツアーを開催しました。明治、大正、昭和の資料から、絵葉書や開店告知のパンフレット資料などその時代の息吹が感じられる資料を紹介しました。近年、老舗のデパートの閉店に関する話題が相次ぎましたが、その時代の世相を反映し、また流行や文化の振興にもその足跡を残した功績を振り返る機会ともなりました。参加者同士で当時の思い出を語り合う姿も見られ、資料による「タイムトリップ」経験だったのではないのでしょうか。終了後に行ったアンケートでは、「資料の山に圧倒された」などの感想をいただきました。参加者9名。



### 【北方資料書庫ツアー 「道立図書館で火山の本を見てみよう！」】

■ 日 時：7月30日（土）14：00～16：00

大人向けの資料が多く馴染みの少ない北方資料に触れてもらおうと、夏休みの子どもたちがじっくりと資料に取り組み、読み込む楽しさを体験する小中学生対象の書庫ツアーを開催しました。テーマに「火山」を選び、所蔵する1977年、2000年の「有珠山噴火関係資料」を中心に、防災映像資料の上映、火山関係の地図から海底地形図などの珍しいものも織り交ぜて紹介しました。



道内各地の“ジオパーク”に関するパンフレットの配付も行い、2時間の長めのツアーにも参加者は最後まで興味深げに資料に見入ってくれました。終了後のアンケートでは、「さまざまな資料が保存されていることがわかる興味深いツアーでした」「普段直接触れてみることでできないものが見られて良かった」などといった感想が寄せられました。参加者6名。

(北方資料サービス課)

## 図書館の秘密を探せ！子ども向け書庫ツアー2022

- 日時：8月11日（木） 13：30～15：00
- 会場：研修室、第一書庫、第二書庫、北方資料室書庫

小学生の夏休み期間に合わせて、「図書館の秘密を探せ！子ども向け書庫ツアー」を開催しました。昨年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としましたが、今年はマスクの着用等の対策を行った上で実施し、当日は小学生と保護者合わせて計18名の参加がありました。始めに研修室で、本の探し方についての説明と館内紹介DVDを視聴後、普段は入ることができない第一書庫



(本の探し方について説明)

や第二書庫、北方資料室、事務スペース等を巡っていきました。

第一書庫では、昭和に発行された学習年鑑や文学全集等の児童書や絵本を紹介、第二書庫では、学習雑誌やその付録のほか、漫画雑誌の創刊号を紹介し、懐かしいと保護者の方にも好評でした。中でも、電動式の書架や新聞を製本する機械は初めて見たという参加者がほとんどで、熱心に写真を撮っている場面も見られました。最後は、館長室も案内し、館長の椅子に座って、写真撮影をしました。

参加者からは、「古い時代の図書や地図があることを知ることができて楽しかった」、「いつもは入ることができない書庫まで入ることができて良い経験になった」等の感想をいただきました。

今回の書庫ツアーは、90分間という長い時間での開催でしたが、楽しみながら本や図書館を身近に感じてもらえる良いきっかけになったようです。



(第二書庫で雑誌や新聞を紹介)

(一般資料サービス課)

## 連携事業

### 【道立図書館・道立近代美術館連携展示】

道立図書館・道立近代美術館相互の利用者サービスの向上を図るため、近代美術館で開催する展覧会に併せて美術館内に特設コーナーを設け、当館の蔵書を紹介する取り組みを、平成30年度から続けています。

今年度の第一弾は、特別展「日本画家 羽生輝展 悠久の岬を望む」（4月16日（土）～6月26日（日））、第二弾は、特別展「フェルメールと17世紀オランダ絵画展」（4月22日（金）～6月26日（日））それぞれの展覧会に関連する図書や雑誌資料を展示しました。展示資料リストの配布も行い、展示資料とともに展覧会をご覧になった方々に手に取っていただきました。



### 【道議会図書室・道立図書館連携展示】

連携事業の一つとして、道議会図書室内に「新着図書+（プラス）」という、当館の蔵書を紹介するコーナーを設けています。議会図書室が毎月購入する新着図書に関連した本を当館から毎回10冊ほど選んで入れ替えをしながら置いています。

以前は離れたところに分けて置いていましたが、今年度は道議会図書室購入の新着図書コーナーと同じ棚でより分かりやすくなり、一般の方も手に取ってゆっくりご覧いただくことができます。



(新着図書コーナー)



(新着図書+（プラス）コーナー)・中段

(一般資料サービス課)

## 2022サイエンスパークについて

■ 日 時：7月24日（日） 10：00～15：30

■ 会 場：札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ） 憩いの空間（東）

「サイエンスパーク」は、北海道の未来を担う子どもたちをはじめとする道民の方に、科学技術に対する興味と理解を深めてもらうための科学体験イベントで、今年度は、「会場展示」「体験教室」「オンライン」の3つの形式で開催されました。

当館は、7月24日（日）に札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）で開催された「会場展示」に出展しました。コロナ禍ということもあり、ここ2年はオンライン形式で参加していましたが、今回は久しぶりのリアル出展となりました。

当日は、“本で科学の世界を楽しもう！”をテーマに、子どもも大人も楽しめる科学に関する児童書やしかけ絵本など約80冊を展示しました。

新型コロナウイルス感染者数が全国的に増加している時期ということもあり、出足は来場者数も少なめでしたが、午後からは通りすがりに足を止めてくださる方も増え、皆さん、興味深そうに本をながめておられました。

親子連れの方が多く、「今まで行ったことはないんですけど、道立図書館をよく利用しているママ友が何人かいるので、今度行ってみます。」という方や、中には、「今から60年以上も前、道立図書館が北菓楼（札幌本館）の場所にあった頃は、学生だったのでよく利用させてもらった、お世話になりました。」という方もおられ、思いがけない出会いの場となりました。

改めまして、ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。

（事業運営プロジェクトチーム）



（ポップアップ人体絵本等、しかけ絵本が人気）



（宇宙や大地の生きものに関する絵本を展示）

## アイヌ文化講演会「知里真志保とアイヌ語・文化研究の足跡」

■ 日 時：7月31日（日） 14：00～16：00

■ 会 場：研修室

国立アイヌ民族博物館から田村将人資料情報室長を講師に迎え、言語学者で民族学者の知里真志保をテーマに講演会を開催しました。

本講演会は、道立図書館が所蔵する北海道指定有形文化財である「知里幸恵ノート」を国立アイヌ民族博物館で展示しているという経緯から、アイヌ文化を専門とされている同博物館の方々に、知里幸恵をはじめさまざまな人や文化についてお話をさせていただくことで、さらに多くの皆さんにアイヌ文化に親しんでいただくことを目的としています。



(会場風景)

3年目を迎える今回は、同博物館第4回特別展示「知里真志保—アイヌ語研究にかけた熱意—」の会期に日程を合わせ、幸恵の弟でもあり、アイヌ文化研究に多大なる功績を残した真志保によるアイヌ語・文化の調査・研究歴を、特別展示資料を紹介しながらたどりました。

登別での誕生から、東京・樺太を経て、全道各地でのさまざまな人たちとの出会いのエピソードを交えたお話に、皆熱心に聞き入り、そうした背景を知ること、真志保に馴染みのなかった方はもちろん、功績をすでに認識していた人はさらに深く理解できたようです。

また、講演会の関連資料展示として、本人の著作や人物研究、そして「知里幸恵ノート」を、北方資料室において7月26日（火）から8月7日（日）まで展示しました。



(関係資料展示)

(北方資料室)

## 研修事業 全道図書館中堅職員研修会

### 【令和4年度（2022年度）全道図書館中堅職員研修会】

この研修会は、図書館運営・企画能力の向上、変化する図書館ニーズに対応できるスキルの習得を図ることを目的に、道内の公立図書館、公民館図書室等に勤務して3年以上の職員を対象として実施しています。今年度は、「コロナ後の図書館」をキーワードに、オンラインで開催しました。



(オンライン運営の様子)

- 期 日：7月7日（木）～8日（金）
- 会 場：オンライン開催（Z o o mを使用）
- 参加人数：42名
- 日 程：

#### 【1日目】

基調講演「コロナ後の地域と図書館」

講師：アカデミック・リソース・ガイド株式会社（a r g）代表取締役 岡本 真

講義「レファレンス・インタビューのコツ ～よりよいサービスを提供するために～」

講師：北海道立図書館一般資料サービス課企画主幹 小川 靖子

#### 【2日目】

事例発表「電子図書館サービス」

- 発表者：①「TRC-DL」導入館 北見市立中央図書館奉仕係長 川畑 恵美
- ②「Over Drive」導入館 栗山町図書館司書統括 野澤 香
- ③「KinoDen」導入館 北海道立図書館資料整備課長 工藤 嘉一

演習Ⅰ・Ⅱ「コロナ後の図書館活動について」

進行：北海道立図書館企画支援課企画主幹 原 美代子

#### ■ 事後アンケートから

- ・基調講演での「このコロナ禍において誰にも答えは出せないが、悲観的になるのではなく、図書館は知恵を出し合い、学びを活かすべきである」、「さらに次の災害への備えとし、後世に残る教訓を探すべきだ」という前向きな言葉が印象に残った。
- ・電子図書館サービスでは費用の点やメリット・デメリットを提示していただき、とても参考となった。
- ・Z o o mのブレイクアウトルームを用いての5～6人の演習では、各館のコロナ禍での対応について情報を聞くことができ、参考となった。

(企画支援課)

## 北日本図書館大会北海道大会

### 【第73回北日本図書館大会北海道大会・第62回北海道図書館大会】

本大会は、北日本地区の図書館関係者等が一堂に会し、当面する今日的課題について研究協議を行い、共通理解を深め、高度化・多様化する利用者および住民の要望や社会の要請に応える図書館活動の充実と発展に寄与することを目的として開催されるものです。

北海道と東北6県の公共図書館で組織する北日本図書館連盟主催の北日本図書館大会は、7年ぶりに北海道が開催地となりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ウェブ上の動画配信により行うこととなりました。道立図書館（北海道図書館振興協議会事務局）は大会事務局を担当し、第5分科会では北方資料室の事例発表を行いました。

- 主 催：北日本図書館連盟、北海道教育委員会、北海道図書館連絡会議
- テ ー マ：「縄文遺産からICTへ～図書館がつなぐ時代、場所、人～」
- 期 日：6月8日（水）～7月15日（金）
- 会 場：オンライン開催（オンデマンド動画配信〔一部ライブ配信〕）
- 参加人数：263名
- 内 容：

基調講演	「“ライブラリー・ダイバー”～世界遺産『縄文』の意義を図書館で探す～」	東北芸術工科大学准教授 青野 友哉
トピック	「世界の宝『縄文（JOMON）』を通じた函館の地域活動」	縄文DOHNANプロジェクト代表 山田 かおり
	「北海道内新館紹介 室蘭市図書館・古平町図書館」	室蘭市図書館長 伏見 聡 古平町図書館主事 永井 野乃子
第1分科会	「社会に開かれたコレクションの系譜～北海道大学附属図書館北方資料～」	北海道大学教授 谷本 晃久
第2分科会	「絵本が紡ぐフォークロア～現代絵本に描かれてきたもの～」	帯広大谷短期大学附属図書館司書、絵本専門士 水野 有子
第3分科会	「『地域』にとって公共図書館はどのような存在か」	北海道ブックシェアリング代表理事 荒井 宏明
第4分科会	「ネット文化資源の読み方・作り方」	北海学園大学講師 岡田 一祐
第5分科会	「図書館が伝える地域の歴史～アイヌ文化を伝える～」	恵庭市教育委員会主査 本間 洋一、白老町教育委員会主査 本間 敬子 平取町立図書館主幹 清水 浩、北海道立図書館企画主幹 工藤 尚子

#### ■ 大会アンケートから

- ・縄文文化やアイヌ文化について、新たな視点を教えられた大会だった。
- ・他の図書館事例を拝見し、仕事の参考になり相談相手ができたと感じた。
- ・現地開催は司書同士の交流も生まれ大事なことであるが、オンライン開催の良さもあると感じた。

(企画支援課)

## 令和4年度（2022年度）上半期の事業一覧

	事業名	開催日	開催場所	概要	参加人数
1	令和4年度北海道図書館振興協議会第1回理事会	4月	書面開催	北海道図書館振興協議会理事会	-
2	北海道立図書館・北海道立近代美術館連携事業	①4月16日～ 6月26日 ②4月22日～ 6月26日 ③7月10日～ 8月21日 ④9月3日～ 10月30日	札幌市 (北海道立近代美術館)	相互の利用者サービスの向上を図るため、道立近代美術館で開催する展覧会に連動し、特設コーナーを設けて道立図書館の蔵書を紹介する。 ①「羽生輝展～北海道立図書館の蔵書から」 ②「フェルメールと17世紀のオランダ絵画展～北海道立図書館の蔵書から」 ③「古代エジプト展～北海道立図書館の蔵書から」(スペースの都合上、当館の閲覧室で展示) ④「国宝・法隆寺展～北海道立図書館の蔵書から」	-
3	令和4年度北海道図書館振興協議会総会	5月	書面開催	北海道図書館振興協議会総会	-
4	令和4年度北海道読書推進運動協議会総会	5月	書面開催	令和3年度報告、令和4年度計画など	-
5	北方資料室書庫ツアー 北方資料×デパートにみる北海道	5月28日(土)	北海道立図書館	普段は入ることのできない書庫を巡りながら、北方資料室が所蔵する貴重な資料を紹介	9名
6	第73回北日本図書館大会北海道大会・第62回北海道図書館大会	6月8日(水)～ 7月15日(金)	オンライン開催	基調講演、トピック、分科会等の配信	263名
7	全道図書館中堅職員研修会	7月7日(木)～ 8日(金)	オンライン開催	道内の図書館等勤務3年以上の職員を対象とした、中堅職員向け研修	42名
8	北方資料室書庫ツアー 夏休み、書庫を歩けば何かに当たる?～火山の本を見てみよう～	7月30日(土)	北海道立図書館	普段は入ることのできない書庫を巡りながら、北方資料室が所蔵する貴重な資料を紹介	6名
9	アイヌ文化講演会「知里真志保のアイヌ語・文化研究の足跡」	7月31日(日)	北海道立図書館	知里幸恵の弟であり、アイヌ文化研究に多大なる功績を残した知里真志保をメインテーマとする講演	24名
10	令和4年度子ども向け書庫ツアー	8月11日(木・祝)	北海道立図書館	図書館での資料の探し方の説明のほか、主に昭和時代出版された子ども向けの資料を中心に紹介	18名
11	道議会図書室・道立図書館連携展示事業	毎月、道議会図書室の 新着図書を紹介と合わせて実施	札幌市 (北海道議会図書室)	道議会図書室で毎月購入する新着図書に関連する分野の道立図書館所蔵資料を「新着図書+ (プラス) コーナー」として展示	-

## 掲 示 板

### <職員人事異動>

退 職 令和4年3月31日付け

館 長 宇 田 賢 治

企画支援課長 宮 本 浩

転 出 令和4年4月1日付け

総務企画部長 山 本 信 (教職員局福利課参事へ)

管理課長 氏 家 直 久 (総務政策局施設課課長補佐へ)

管理課主査 高 田 和 明 (総務政策局総務課主査へ)

管理課専門主任 長 尾 かおる (北海道札幌真栄高等学校専門主任主事へ)

転 入 令和4年4月1日付け

館 長 川 端 雄 一 (学校教育局特別支援教育担当局長から)

総務企画部長 山 崎 純 平 (総務政策局総務課課長補佐から)

管理課長 岡 部 真 希 (留萌教育局道立学校運営支援室長から)

管理課主査 高 橋 克 弥 (後志教育局道立学校運営支援室係長から)

管理課主事 芦 名 美 彩 (釧路教育局主事から)

再任用 令和4年4月1日付け

企画支援課主任 宮 本 浩

※ 紙面の都合により本文中の敬称を省略させていただきました。

### 北海道立図書館報 第213号

令和4年(2022年)9月28日発行

北海道立図書館長 川 端 雄 一

〒069-0834 江別市文京台東町41番地

TEL: 011-386-8521 (代 表 )

ダイヤルイン

386-8531 ( 総 務 企 画 部 )

386-8522 ( 一 般 資 料 室 )

386-8523 ( 北 方 資 料 室 )

FAX: 011-386-6906

E-mail: support@library.pref.hokkaido.jp

ホームページ: <https://www.library.pref.hokkaido.jp>